

報道関係者各位

平成22年1月22日
森ビル株式会社

緑豊かな周辺環境、政治・経済の中枢に位置し、耐震性や環境性に優れたオフィスビル 「永田町山王森ビル」竣工

森ビル株式会社が、千代田区永田町にて推進して参りました「永田町山王森ビル」が竣工し、本日1月22日（金）に竣工式を執り行いました。

当ビルは、経済の中心である赤坂・永田町エリアに位置し、東側には国会議事堂や首相官邸、各官公庁など霞が関の政治の中枢エリア、西側には日枝神社が隣接しています。周辺には、地下鉄6路線が集結しており、東京メトロ溜池山王駅・国会議事堂前駅から徒歩2分の利便性が高いエリアです。

地上8階建、延床面積5,183㎡の事務所ビルで、基準階貸室面積は687㎡です。天井高3.0mで開放感のあるオフィス空間からは、隣接する日枝神社の緑豊かな環境が広がり、本社機能にも相応しいビルグレードとなっています。

当ビルの主な特徴

- 政治・経済の中枢エリア、
地下鉄6路線が集結する高い利便性
- スペック、耐震性等、
本社機能にも相応しい高いビルグレード
- 約400㎡のルーフガーデンで
オフィスワーカーのリフレッシュ空間を確保
- 様々な環境配慮技術を採用



【本件に関してのお問合せ先】

森ビル株式会社 広報室 深野

住所：東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー 私書箱1号

TEL：03-6406-6606 FAX：03-6406-9306

E-mail：koho@mori.co.jp

■政治・経済の中核エリア、地下鉄6路線が集結する高い利便性

当ビルは、経済の中心である赤坂・永田町エリアに位置し、東側には国会議事堂や首相官邸、各官公庁など霞が関の政治の中核エリア、西側には日枝神社が隣接しています。

周辺には、地下鉄6路線が集結しており、東京メトロ溜池山王駅・国会議事堂前駅から徒歩2分の利便性が高いエリアです。



■スペック、耐震性等、本社機能にも相応しい高いビルグレード

687㎡の基準階貸室は天井高3.0m、床には各種ケーブルを収納できる高さ10cmのフリーアクセスフロアを実装しました。森ビルが開発したグリッド型天井システム「フォレストシーリングシステム」の採用により、オフィスレイアウトの変更にも柔軟に対応できます。窓の外には、隣接する日枝神社の豊かな緑が広がり、開放感のあるオフィス空間となっています。1階はショールーム等にも活用できるよう5.0mの天井高を確保できます。さらに、高度な耐震（制振）性能を持たせる等、トップクラスのスペックを確保しました。



基準階オフィス空間（隣接する日枝神社の緑豊かな環境が広がる）

制振システム

制振装置【※】（アンボンドブレース、制振間柱）をバランスよく配置することで建物の変形を通常よりも20%程度低減し、大地震時における建物の損傷を抑える制振構造としました。その結果、大地震時における建物の耐力は、建築基準法で定める基準の約1.4倍となっています。

※制振装置（アンボンドブレース、制振間柱）

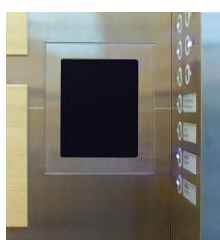
建物本体の柱・梁に使われる鋼材よりも、柔らかい鋼材を部分的に用いることで、大地震時のような比較的振幅の大きなゆれが発生した場合に、柔らかい鋼材の部分に変形を集中させ、地震のエネルギーを吸収させ建物本体の躯体損傷を抑えることができます。

セキュリティシステム

建物出入り口とオフィス出入り口扉に非接触型ICカードを用いた3段階のセキュリティシステムを採用。24時間、安全かつスムーズな入退室を実現し、関係者以外の侵入を制限します。



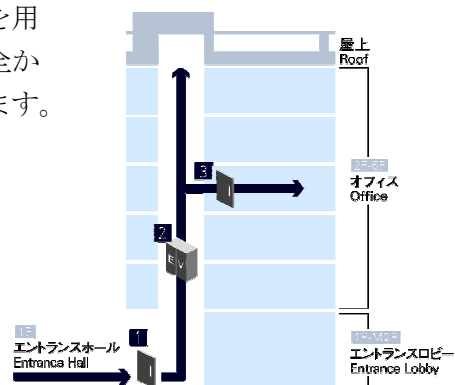
建物通用口



エレベーター内

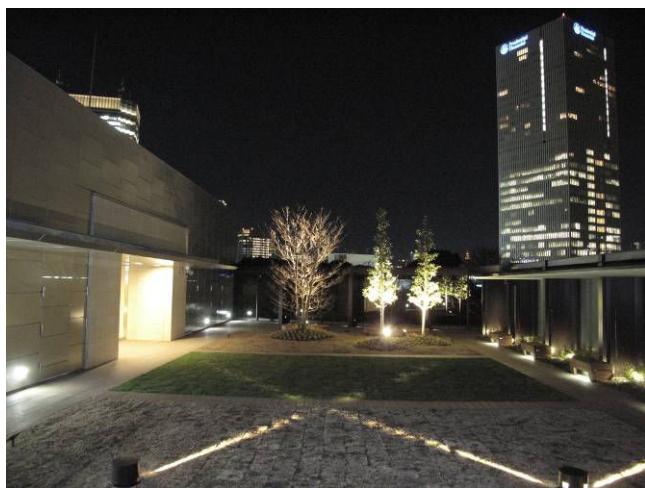


貸室扉



■約 400 m²のルーフガーデンで、オフィスワーカーのリフレッシュ空間を確保

屋上には、乗用エレベーターで直接アクセスできるルーフガーデンを設け、オフィスワーカーのために、パーティ利用もできるリフレッシュ空間を確保しました。隣接する日枝神社の深い森と呼応した緑を配することで、都心のヒートアイランド対策にも貢献します。屋上デッキ材には再生木材を使用し、リサイクルにも考慮しました。さらに、植栽の配置により階下の断熱性能が高まり、空調負荷の低減にもつながっています。



屋上のルーフガーデン

■様々な環境配慮技術を採用

大きな開口を持つ東面と西面のファサードは、日射を制御する縦ルーバー（1200 ピッチ、押出成形セメント板）による構成とし、永田町という立地にふさわしいグレードの高いデザイン性と環境性を両立。ルーバーのない場合と比較して基準階東西面のPAL値（※1）を約16%、ERR値（※2）を約36%低減しました。

さらに、基準階の開口部には、断熱性能の高いLow-Eガラスを採用しています。

（※1）PAL：年間熱負荷係数。建築物の外壁・窓などを通しての熱損失水準に関する指標で、小さいほど熱損失が少ないことを示します

（※2）ERR：設備システムにおける一次エネルギー消費量の低減率を表します

オフィス空間には、エコマーク認定カーペットを標準採用し、テナント退去時に発生する使用済みカーペットを再資源化するという、100%リサイクルシステムを実現しています。この他、LED照明器具の採用や、入退室システムと連動して停止する照明・空調システムの導入、トイレ人感センサーの設置など、様々な環境負荷低減技術を取り入れています。



デザイン性と省エネルギー性を兼ね備えたファサード

建物概要

建物名称	永田町山王森ビル
所在地	東京都千代田区永田町 2-10-1
敷地面積	950 m ²
建築面積	862 m ²
延床面積	5,183 m ²
階数	地上 8 階
用途	事務所
基準階貸室面積	687 m ²
総貸室面積	3,668 m ²
建物高さ	33.2m
構造	鉄骨造 (一部鉄骨鉄筋コンクリート造)
建築主	森ビル株式会社
設計者	株式会社久米設計
施工者	清水建設株式会社
着工	2008年12月
竣工	2010年1月

